



外国文献紹介

変形性肩関節症における回旋腱板筋の脂肪浸潤と肩甲骨関節窩の形態との関係

Donohue KW et al : The association between rotator cuff muscle fatty infiltration and glenoid morphology in glenohumeral osteoarthritis. J Bone Joint Surg Am 100 : 381-387, 2018

筆者らは、一次性変形性肩関節症（GHOA）の治療のため人工肩関節全置換術を実施した 175 例の術前 CT 画像に対して後ろ向き調査を行い、肩甲骨関節窩の形態と回旋腱板筋の脂肪浸潤との関係について検討した。肩甲骨関節窩の評価には修正 Walch 分類を用い、回旋腱板筋の脂肪浸潤の評価には Goutallier 分類を用いた。その結果、回旋腱板筋の高度な脂肪浸潤は、修正 Walch 分類の A1 群では 39 例中 3 例（8%）のみにみられたのに対して、骨欠損の多い B3 群では 38 例中 21 例（55%）に認められた。そして、GHOA において回旋腱板筋の高度な脂肪浸潤と修正 Walch 分類 B3 群との間に関連性があることが示唆されたと述べている。

瀬戸一彦